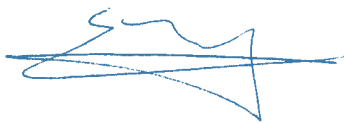


IPS Empress Direct IPS エンプレス ダイレクト

Case Report



Dr. Eduardo Mahn
Universidad de los Andes,
Santiago, Chile



Case of Dr. Mahn



症例

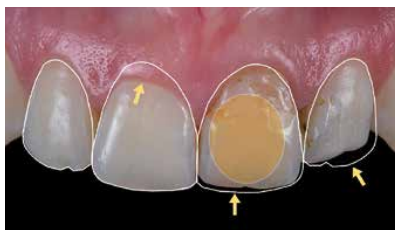
24歳、女性
前歯部に歯の形態、色調、明度の不正と着色、歯肉歯頸ラインの不正が観察される。

“IPS エンプレス ダイレクトは、シンプルなレイヤリングで自然な色調と長期安定性が得られる。広範囲をカバーするエナメルとデンチンで、あらゆる症例をカバーしてくれる。十分でないところもシェードを簡単に再現できるシステムとなっている。この材料は僕にとって、シンプルなのに理想を現実にしてくれる材料だ” by Dr. Eduardo Mahn



口腔内写真

#21に着色、#22にはレジン充填が観察される。また、#12-#22は歯肉ラインに不正が見られる。



治療計画

#21の着色は、コンポジットレジン充填前に38%過酸化水素水でウォーキングブリーチを行うこととする。



モックアップ

#21ウォーキングブリーチ後、歯冠長を決定するために、コンポジットレジンでモックアップを行う。



形成

モックアップをベースとしてシリコンコアを作製する。その後、#21は直接ベニア、#22はレジン充填部分およびう蝕を除去する。



IPS エンプレス ダイレクト 充填

#21は、IPS エンプレスダイレクト デンチン BL-LコンポジットおよびエナメルBL-Lをオプトラスカulpt パッドを使用し積層する。



仕上げ研磨

#11、#12の歯肉切除を行い歯頸ラインを合わせた後、#21、#22をバーを使用して表面性状を付与し、研磨する。



側面観



正面観

